

栃木県小山市：平地林保全と再エネ導入の好循環による田園環境都市の実現



事業計画の特徴

- 平地林の保全等に活用する「（仮称）ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ基金」を創設し、本事業を活用する事業者は、**導入した設備の耐用年数期間において電気契約金の約3%を寄付する等に取り組む**ことを本事業の民間事業者向け支援を受ける要件とする。
- 民間事業者向け支援については、エネルギーの地産地消等、設置の目的に賛同した企業や団体等が申請することで参加できる産学官民連携組織である「**小山市ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進プラットフォーム**」に参画することを要件とするとともに、当該プラットフォーム内において、**設備の共同購入や共同PPAの枠組み**を作り、市外事業者に委託することの多い、**設備のメンテナンスも完結する仕組み**を構築する。
- 個人向け太陽光・蓄電池については**セット導入**を要件とする。

※2030年度までに公共・公用施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロとする。

事業計画の概要（民間）

再エネ：2,000kW

取組（個人）	規模
太陽光発電設備の導入	160件 800kW
蓄電池の導入	160件

取組（事業者）

規模

太陽光発電設備の導入	12件 1,200kW
------------	----------------

事業計画の概要（公共）

再エネ：900kW

取組	規模
小中学校等への太陽光発電設備の導入（PPA等）	10件 700kW
調整池への太陽光発電設備の導入（PPA等）	1件 200kW

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
2,900kW	27,036 t-CO2	8.0億円	2.6億円	令和7年度 ～ 令和12年度

取組のイメージ

（仮称）ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ基金スキーム

